



令和元年12月26日(木)
荒川水系(埼玉県)大規模氾濫
に関する減災対策協議会
入間川流域部会

川越市 東松山市 坂戸市 川島町 埼玉県 熊谷地方気象台 荒川上流河川事務所

記者発表資料

令和元年台風第19号を踏まえた
「入間川流域緊急治水対策プロジェクト
【中間とりまとめ】」を公表します。

～地域が連携し、多重防御治水により、社会経済被害の最小化を目指す～

令和元年台風第19号において甚大な被害が発生した荒川水系入間川流域における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し、「入間川流域緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」をとりまとめました。

「入間川流域緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」の概要

○以下の2つを柱として取り組んでいきます。

①多重防御治水の推進

②減災に向けた更なる取組の推進

※詳細については、別紙をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会
さいたま市政記者クラブ さいたま市地方記者クラブ 川越新聞記者会

問い合わせ先

荒川水系(埼玉県)大規模氾濫に関する減災対策協議会
〈入間川流域部会〉事務局

国土交通省 関東地方整備局

荒川上流河川事務所 副所長 荒木 茂 (あらかしげる)

荒川緊急治水対策推進室 室長 米沢 拓繁 (よねざわひろき)

防災情報課 課長 林 健二 (はやしけんじ)

①多重防御治水の推進に関すること

TEL 049-246-6360 FAX 049-243-9070

②減災に向けた更なる取組の推進に関すること

TEL 049-246-6384 FAX 049-243-6078

入間川流域緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】

～地域が連携し、多重防御治水により、社会経済被害の最小化を目指す～

川越市 東松山市 坂戸市 川島町 埼玉県 気象庁熊谷地方气象台 荒川上流河川事務所

令和元年台風第19号において甚大な被害が発生した荒川水系入間川流域における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し「**入間川流域緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】**」をとりまとめました。引き続き、具体化に向けた検討を行ってまいります。

①多重防御治水の推進(関東流治水システムの踏襲)

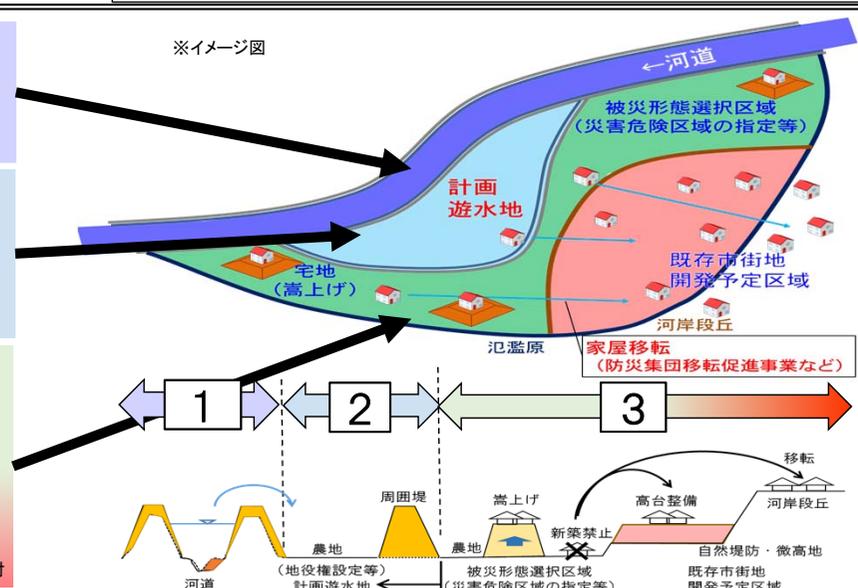
【参考】『多重防御治水』とは
地域と連携し、

- ①河道の流下能力の向上による、あふれさせない対策
 - ②遊水機能の確保・向上による、計画的に流域にためる対策
 - ③土地利用・住まい方の工夫による、家屋浸水を発生させない対策
- が三位一体となって社会経済被害の最小化を目指す治水対策

現状 (before) **直轄ダム、遊水地なし**
主に河道で洪水を処理

今後 (after) **河道の流下能力の向上、遊水機能の確保・向上、土地利用・住まい方の工夫を組み合わせ対応**

河道	三位一体の対策	1	河道 の流下能力の向上 ○河道内の土砂掘削、樹木伐採による 水位低減 ○堤防整備 (掘削土を活用)
		2	遊水機能 の確保・向上 ○地形や現状の土地利用等を考慮した 遊水地の整備 ※外水(国管理河川・県管理河川など)、内水の両方に対応する遊水地(仮称) ハイブリッド型遊水地 を検討
		3	土地利用・住まい方 の工夫 ○浸水が想定される区域の 土地利用制限 (災害危険区域の設定等) ○ 家屋移転 、住宅の嵩上げ(防災集団移転促進事業等) ○高台整備(避難場所等に活用) ○土地利用に応じた内水対策の検討



②減災に向けた更なる取組の推進

<課題> **同時多発的な被害発生により、情報が膨大となり、状況把握・情報伝達・避難行動が円滑に進まない**

<今後の方向性> **関係機関等が連携し、円滑な水防・避難行動のための体制等の充実化を図る**

- <主な取組メニュー>
- 重要度に応じた情報の伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組
 - 自治体との光ケーブル接続
 - 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
 - 氾濫を監視する機器の開発・整備
 - 関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組
 - タイムラインの改善
 - 他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
 - 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 - 広域避難計画の検討
 - 緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施



入間川流域における浸水被害状況

令和元年台風第19号の一般被害状況（荒川水系入間川流域 直轄区間）

○ 荒川水系越辺川、都幾川では、3箇所の堤防決壊、1箇所での河川からの越水が発生しました。
浸水面積1,957ha、浸水家屋878戸となる大規模な浸水被害となりました。 11月7日時点 国土交通省、各市町調べ



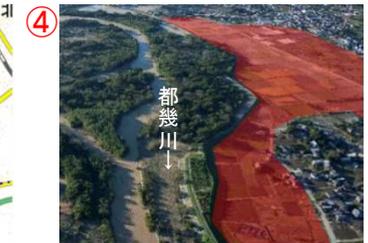
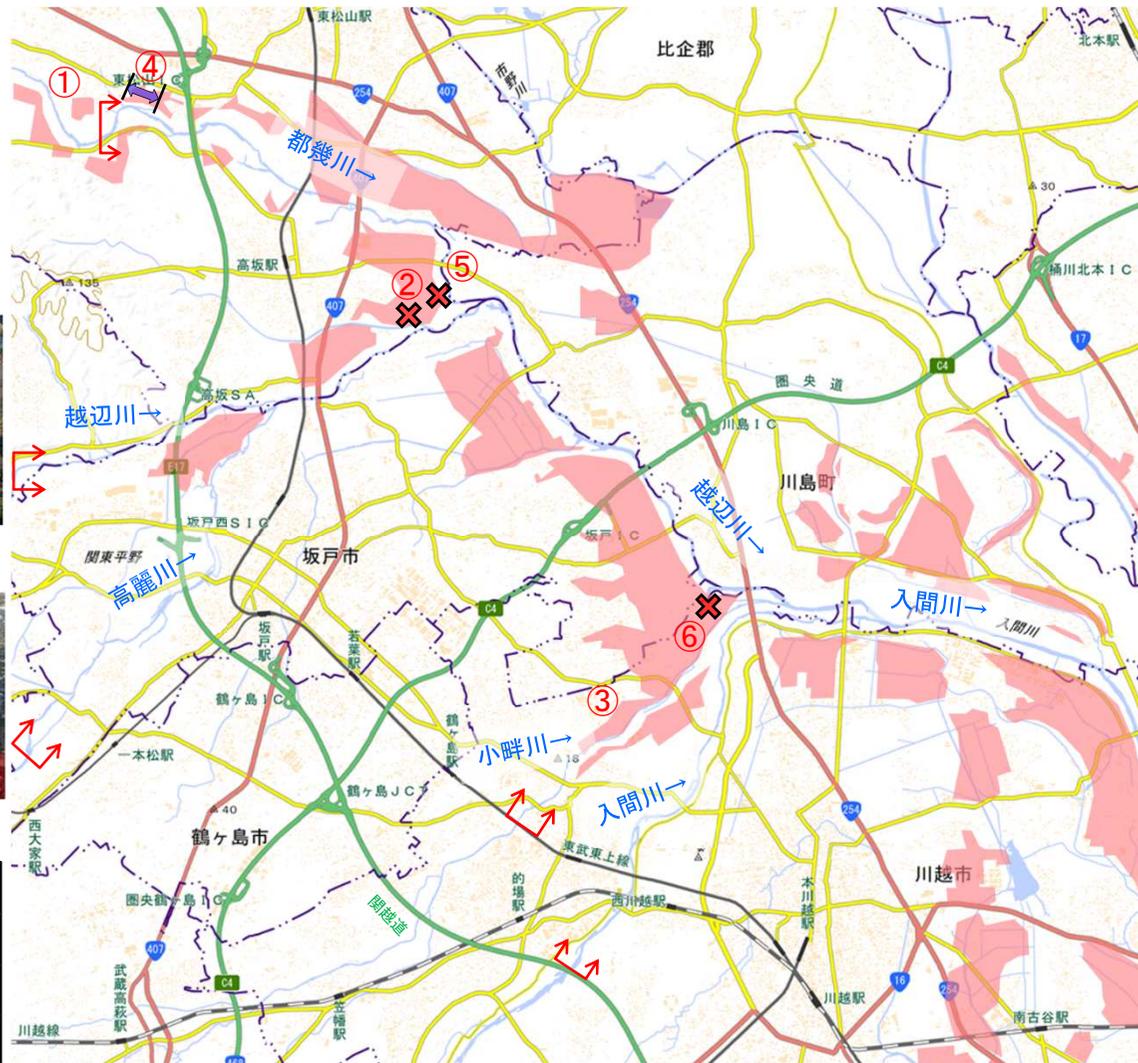
都幾川神戸大橋付近



越辺川左岸7.6k付近



小畔川2.6k付近



都幾川左岸6.5k付近



都幾川右岸0.4k付近



越辺川右岸0.0k付近

浸水家屋	床上浸水	592戸
	床下浸水	286戸
	合計	878戸
浸水面積		1,957ha

凡例	
	決壊箇所
	越水箇所
	浸水範囲
	直轄区間

11月7日時点 国土交通省、各市町調べ

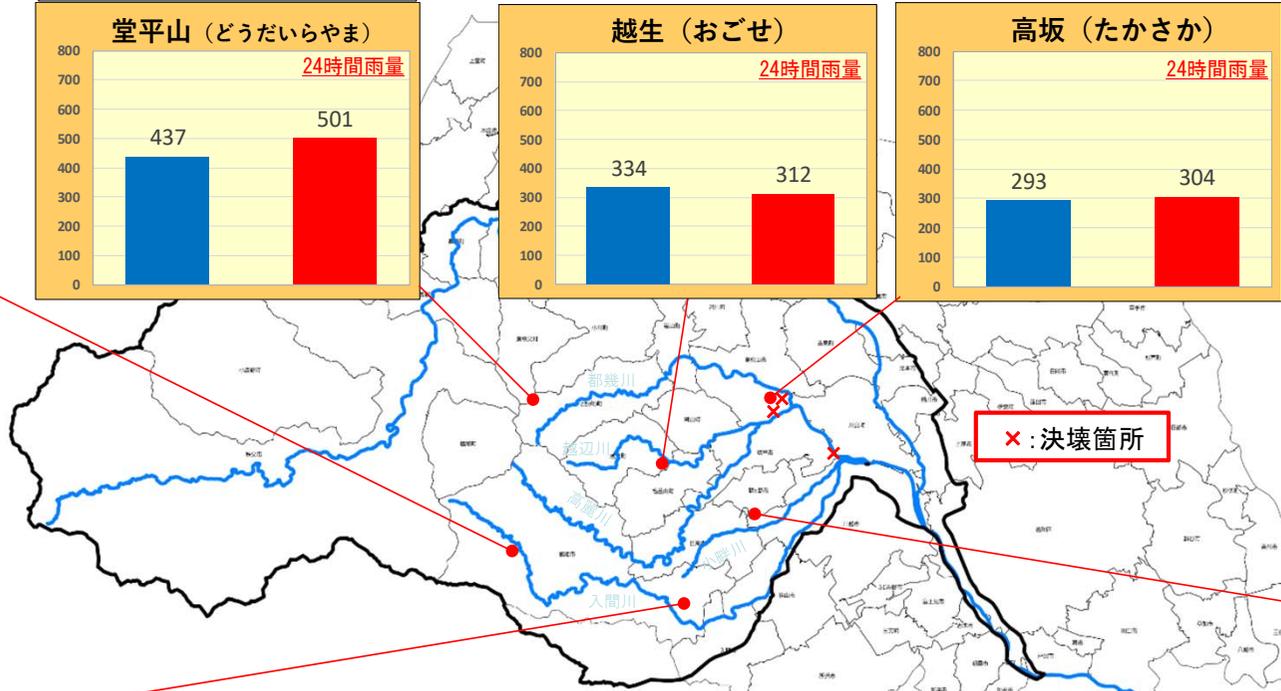
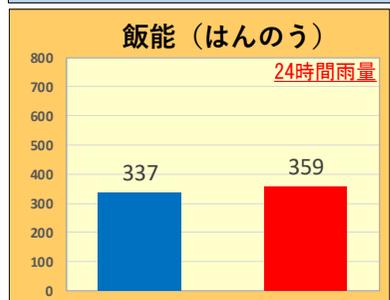
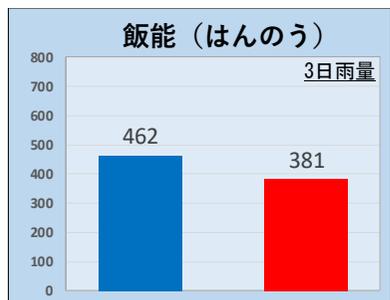
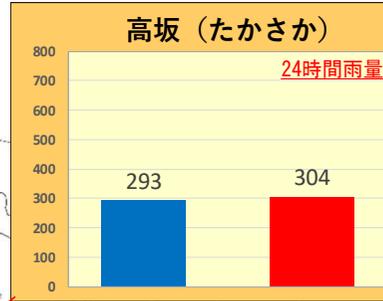
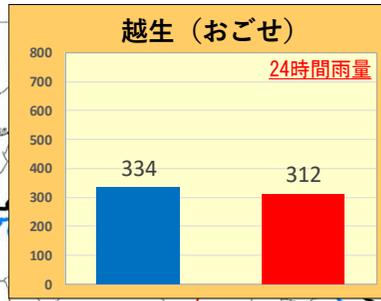
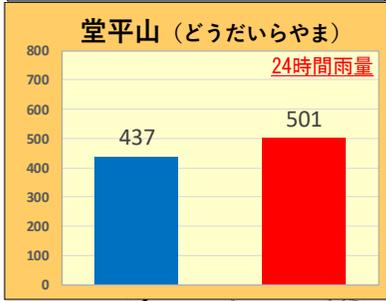
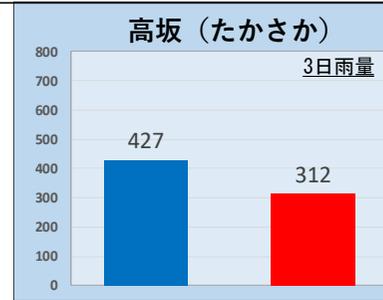
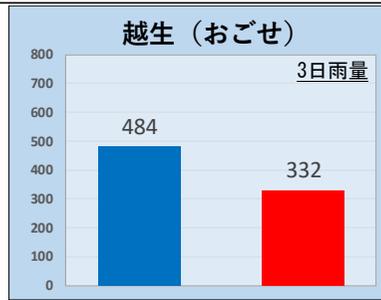
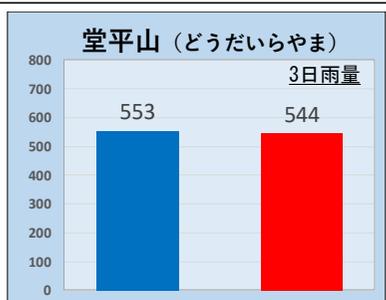
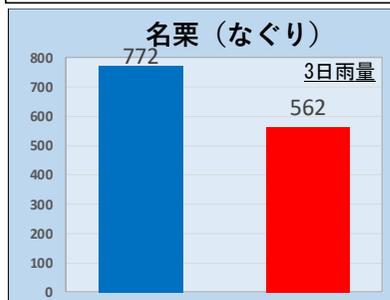
越辺川堤防の復旧に向けて

令和2年1月30日（木）

関東地方整備局
荒川上流河川事務所

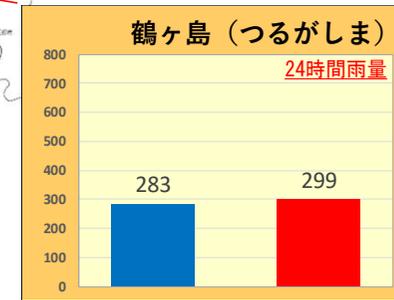
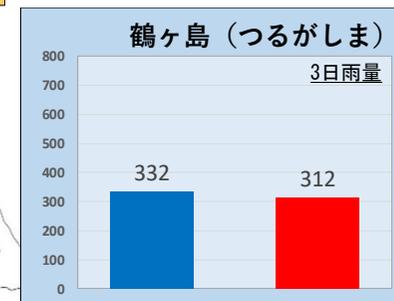
流域内の降雨の概要

- ◆ 台風第19号の通過により、埼玉県内では10月12日から13日にかけて大雨となった
- ◆ 山間部にある名栗、堂平山の各観測所では3日雨量が500mmを超え、平野部にある観測所においては300mmを超えた
- ◆ 24時間雨量については、名栗、堂平山、高坂、飯能、鶴ヶ島の各観測所で、既往最多雨量を超えた



流路延長と流域面積

	流路延長(km)	流域面積(km ²)
入間川	67.4	227.4
小畔川	18.8	48.5
越辺川	35.9	94.5
都幾川	31.5	154
高麗川	40.6	90.4
残留域		106.2
	194.2	721.0



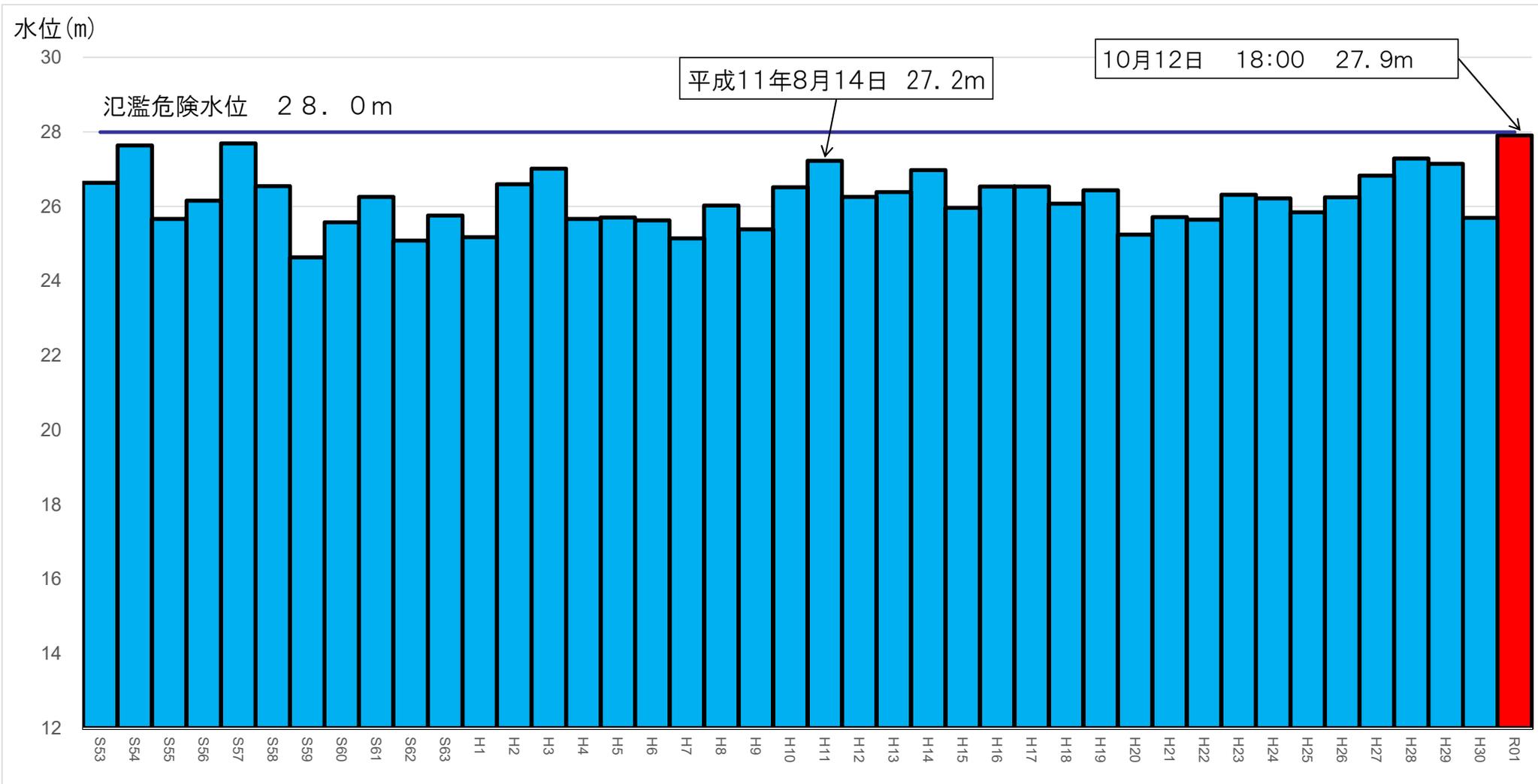
観測所名	河川名	管理	今回洪水 (mm)		既往最多 (mm)		既往最多 (mm)		備考
			3日	24時間	3日	年月	24時間	年月	
高坂	越辺川	国交省	312	304	427	昭和49年8月31日	293	昭和57年9月11日	昭和53年から観測 (テレ)
堂平山	都幾川	国交省	544	501	553	平成11年8月13日	437	平成11年8月13日	昭和52年から観測 (テレ)
越生	越辺川	国交省	332	312	484	平成11年8月13日	334	平成11年8月13日	昭和38年から観測 (テレ)
鶴ヶ島	小畔川	国交省	312	299	332	昭和36年6月27日	283	平成11年8月13日	昭和52年から観測 (テレ)
名栗	入間川	国交省	562	530	772	昭和58年8月15日	485	平成2年8月9日	昭和41年から観測 (テレ)
飯能	入間川	国交省	381	359	462	昭和25年7月28日	337	平成11年8月13日	昭和54年から観測 (テレ)

【速報値であり、今後、変更の可能性がある】

■ : 既往最多雨量
■ : 今回の雨量

○荒川水系越辺川の入西水位観測所において、氾濫危険水位に迫り、10月12日18時00分にピーク水位27.9mを記録しました。

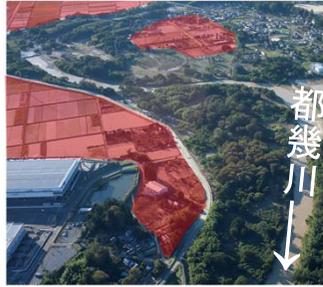
越辺川（入西観測所）の年最高水位比較図



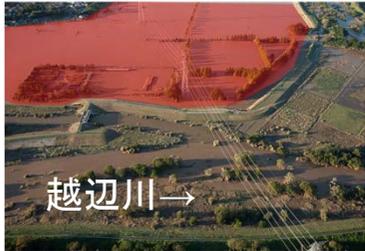
※水位は、標高(A.P.)表記

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

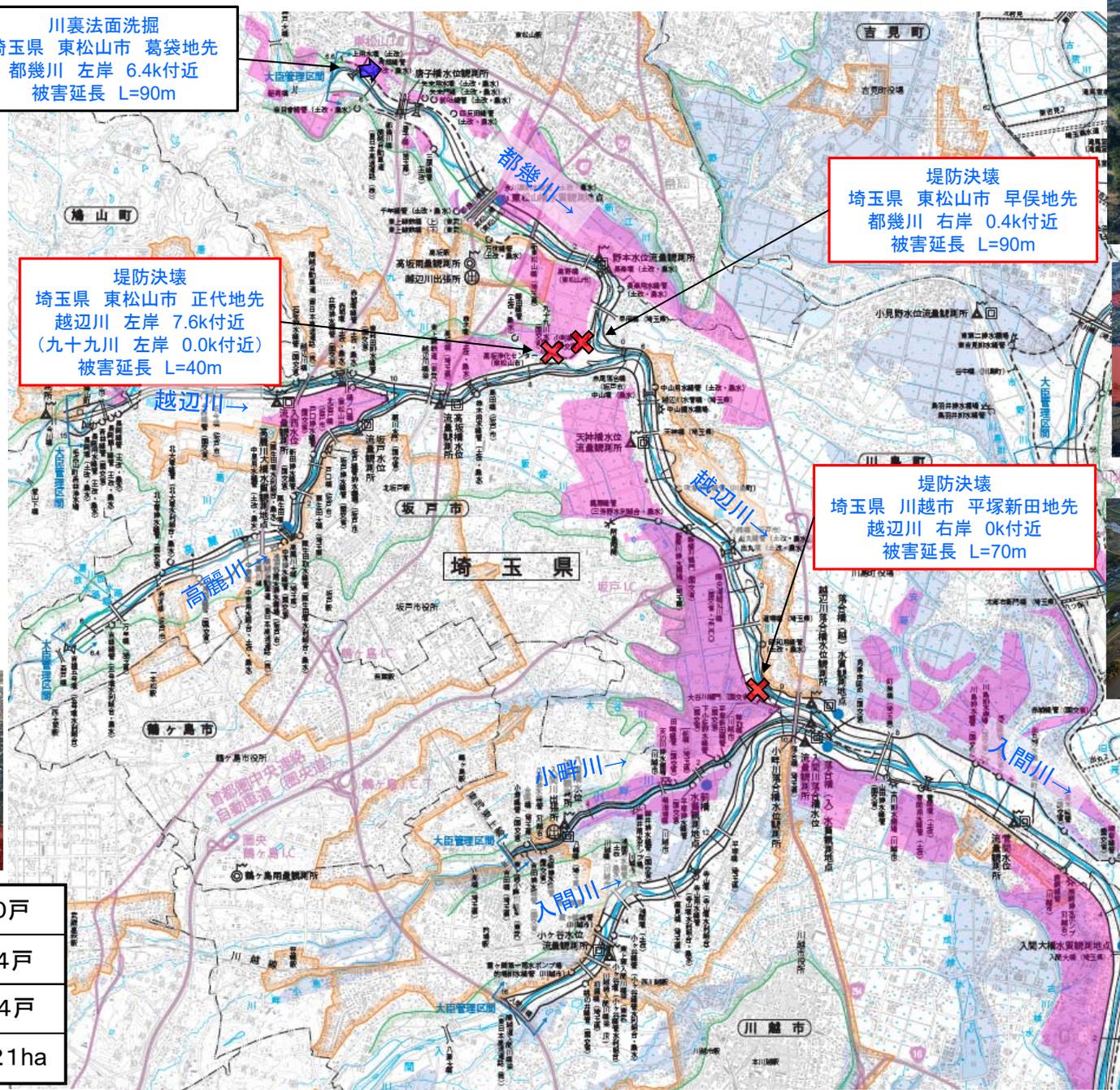
荒川水系越辺川、都幾川では、今次洪水により河川水位が計画高水位を超過し、暫定堤防区間で決壊、越水による外水氾濫が発生



川裏法面洗掘
埼玉県 東松山市 葛袋地先
都幾川 左岸 6.4k付近
被害延長 L=90m



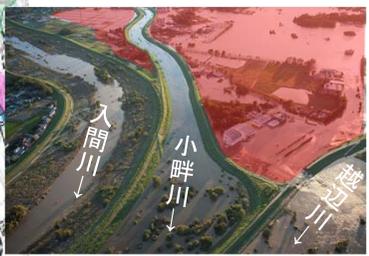
堤防決壊
埼玉県 東松山市 正地地先
越辺川 左岸 7.6k付近
(九十九川 左岸 0.0k付近)
被害延長 L=40m



堤防決壊
埼玉県 東松山市 早俣地先
都幾川 右岸 0.4k付近
被害延長 L=90m



堤防決壊
埼玉県 川越市 平塚新田地先
越辺川 右岸 0k付近
被害延長 L=70m

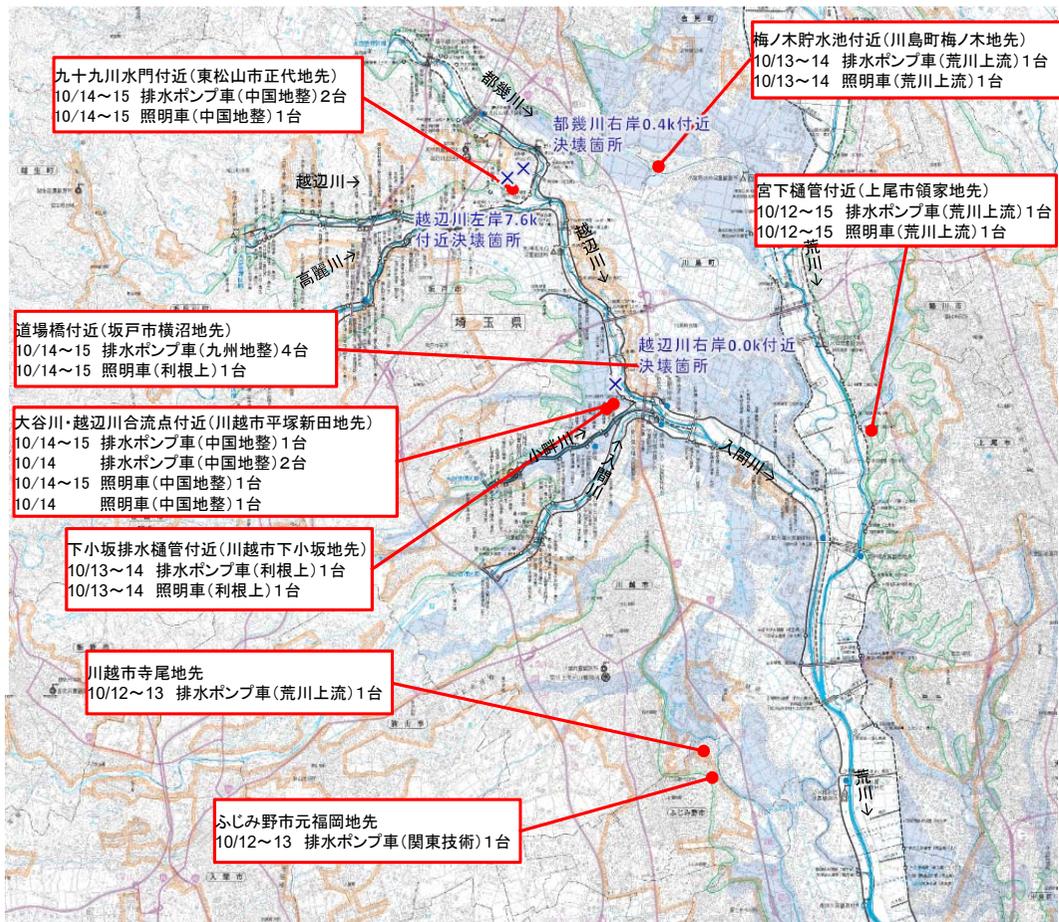


浸水家屋	床上浸水	590戸
	床下浸水	214戸
	合計	804戸
浸水面積		1,821ha

凡例	
	決壊箇所
	越水箇所
	浸水範囲

排水ポンプ車の運用状況

- 決壊による浸水箇所は、決壊が確認された当日10月13日(日)から排水を開始し、15日(火)に完了
- 内水による浸水箇所は、10月12日(土)から排水を開始し、15日(火)に完了



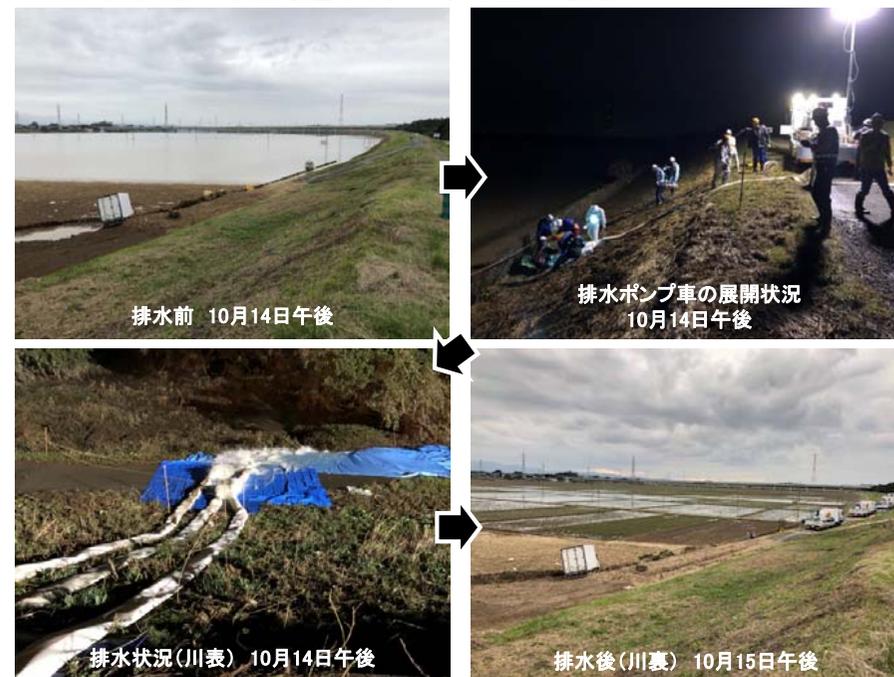
■ 九十九川水門付近(東松山市正代地先)



■ 下小坂排水樋管付近(川越市下小坂地先)

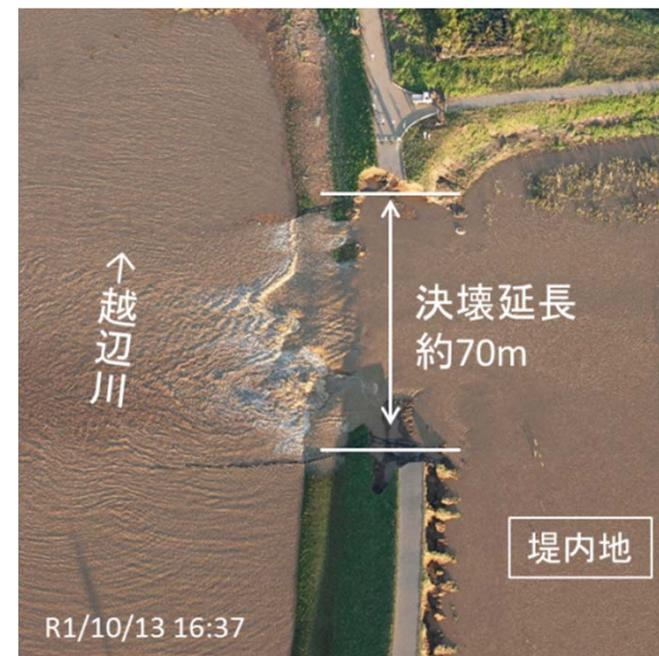
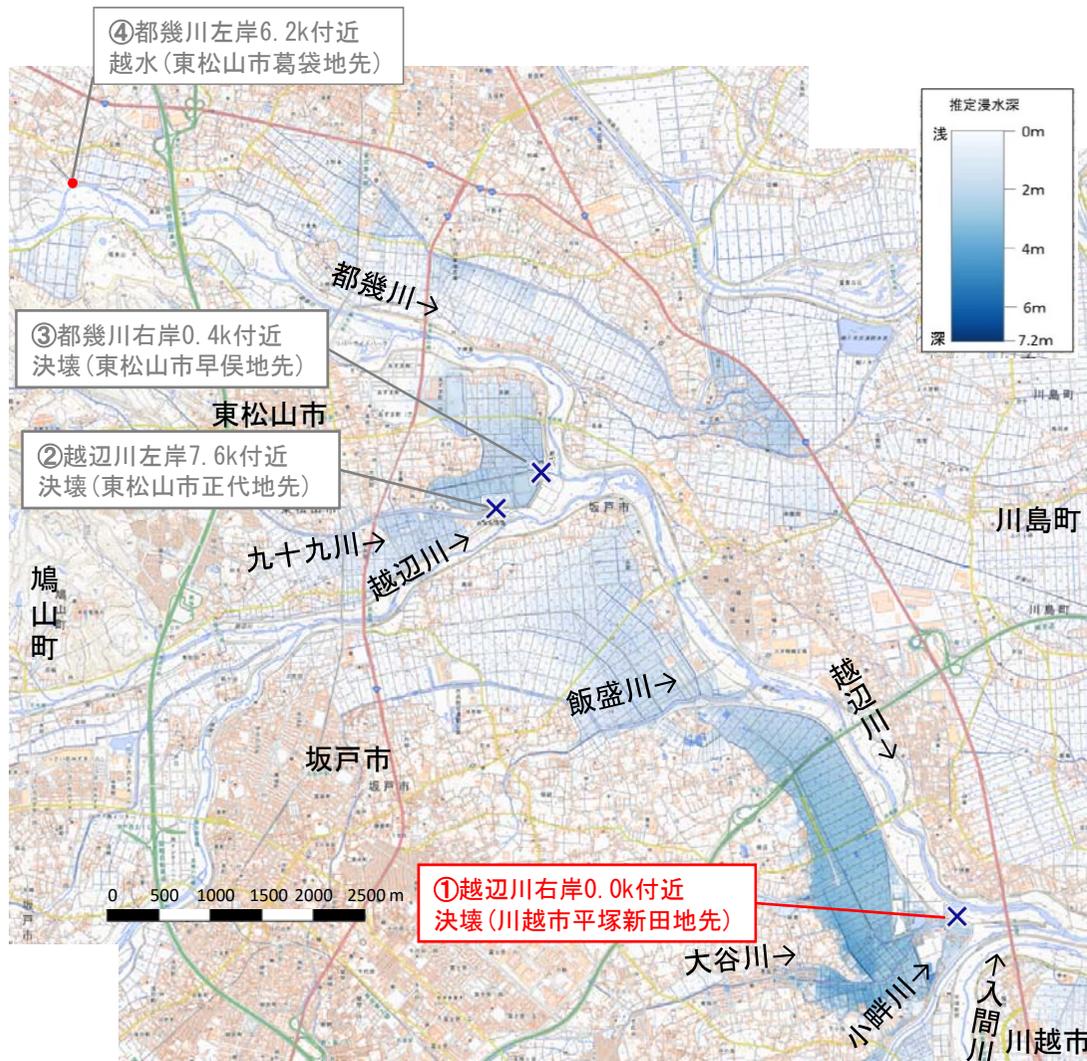


■ 大谷川・越辺川合流付近(川越市平塚新田地先)



堤防の決壊及び越水被害の状況

- 越辺川右岸0.0k付近、越辺川左岸7.6k付近、都幾川右岸0.4k付近において堤防の決壊を確認。
- 都幾川左岸6.2k付近において越水を確認。



※令和元年台風19号に伴う大雨による浸水推定段彩図(都幾川1)【暫定】<速報>
10月14日16時作成 10月18日一部修正(国土地理院)
(https://www1.gsi.go.jp/geowww/201910/shinsui/09_shinsui_toki_1.pdf)を加工して作成

荒川水系越辺川(右岸0.0kp付近) 緊急復旧状況

緊急復旧工事の経緯

- 堤防決壊が確認された10月13日の翌日14日8時30分より緊急復旧事業に着手
- 応急復旧工事は、地元埼玉県内の荒木建設工業株式会社が施工
- 24時間体制で対応し、10月24日20時に緊急復旧工事が完成

10月13日 05:25頃	堤防決壊を確認
10月14日 08:30	緊急復旧工事着手
10月20日 18:00	盛土工完了
10月24日 20:10	緊急復旧工事完了



10月13日 12時10分時点
決壊後の状況



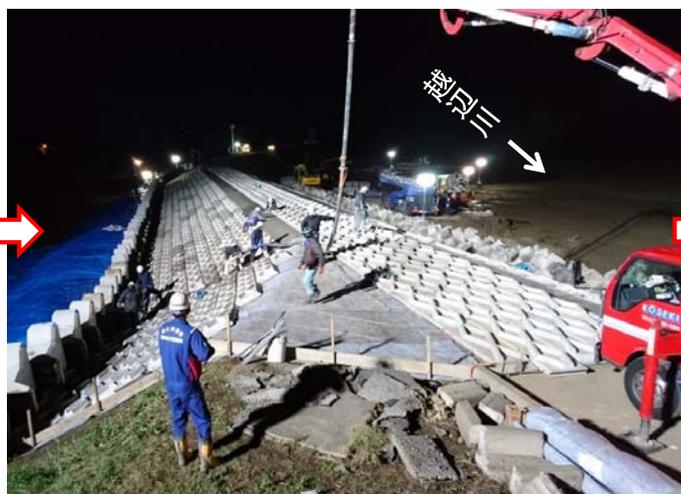
10月17日 8時00分時点
根固めブロック投入



10月20日 11時00分時点
堤防盛土完了



10月22日 11時00分時点
堤防盛土の補強(シート・ブロック張)

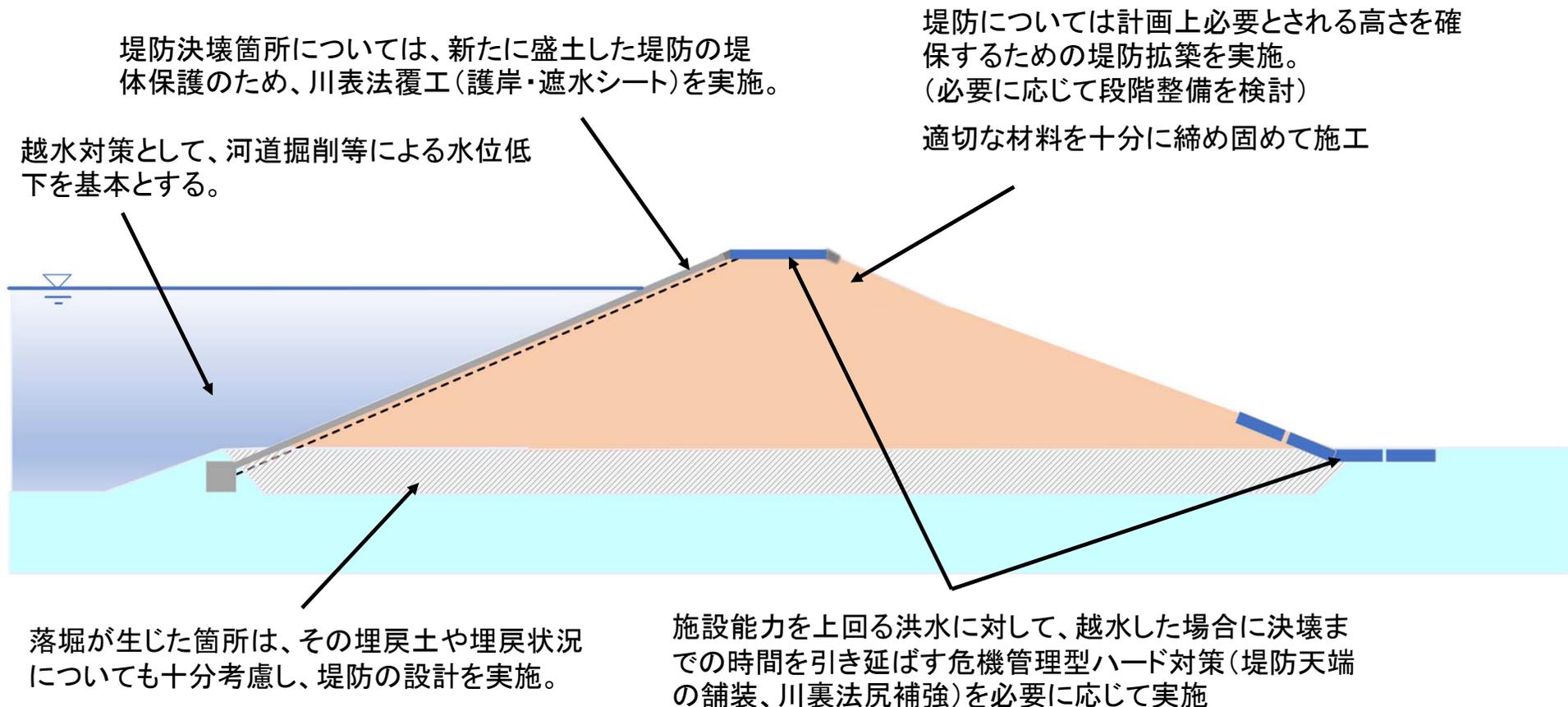


10月24日 19時00分時点
堤防盛土の補強(シート・ブロック張)



10月24日 20時10分時点
緊急復旧工事完了

【断面模式図】



※越辺川左岸7.6kについては基本的に計画上必要とされる高さを確保していたため、堤防の形状は原形復旧を基本とし、危機管理型ハード対策(堤防天端の舗装、川裏法尻補強)を実施する。

※詳細設計にあたっては現地調査を行い、実施内容を精査する必要がある。

R 1 越辺川右岸平塚新田緊急復旧工事のお知らせ

令和2年1月30日

◆ 工事概要

令和元年10月の台風19号により、越辺川右岸の川越市平塚新田付近の堤防が決壊しました。応急的な復旧として、10月20日には元の堤防高までの盛土による締切りを完了させ、堤防の補強も含めた応急復旧対策を10月24日に完了させたところです。

本工事は、応急的に復旧した堤防を災害に強くするため、高さと幅を確保した新しい堤防につくり替えるもので、令和2年2月上旬から着手し、6月の出水期までに堤防高の確保と一定の補強対策を完了する予定です。

工事の施工にあたっては、大型車両の通行等による砂埃、振動等や安全には十分配慮して、早期復旧に向けて鋭意施工を行いますので、近隣住民の皆様には、ご理解、ご協力をお願いいたします。

工事名	R1越辺川右岸平塚新田緊急復旧工事
工事場所	埼玉県川越市平塚新田地先
工事期間	令和2年2月上旬～令和2年7月下旬（予定）
作業時間	8：00～17：00（原則昼間作業・日曜日休工）
主な工事内容	施工延長 約110m 準備・仮設工 1式、仮締切工 1式、 応急復旧堤防撤去工 1式、盛土工 1式、法覆護岸工 1式、 法尻補強工 1式、天端舗装工 1式

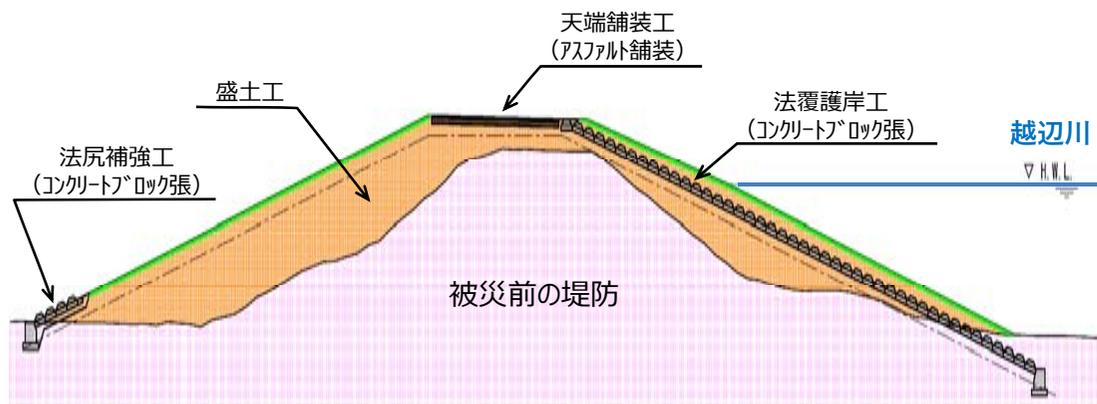


工事箇所周辺 通行案内図

【発注者】
国土交通省荒川上流河川事務所
越辺川出張所：0493-34-3129

【受注者】
荒木建設工業株式会社
さいたま市大宮区天沼町1-476-2
電話：048-645-3213
担当：柏原（090-6130-8011）

◆ 堤防の整備イメージ



工事完成イメージ

※本資料の記載内容は、現時点のものであり、今後、変更になる場合があります。